

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2000-514420(P2000-514420A)

【公表日】平成12年10月31日(2000.10.31)

【出願番号】特願平10-503444

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/55

A 6 1 P 25/02

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00

// C 0 7 D 498/22

【F I】

A 6 1 K 31/55 6 0 4

A 6 1 P 25/02

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 43/00 1 0 7

C 0 7 D 498/22

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 6月24日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第503444号

2. 補正をする者

氏名(名称) セファロン・インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正により増加する請求項の数 9

5. 補正対象書類名 請求の範囲

6. 補正対象項目名 請求の範囲

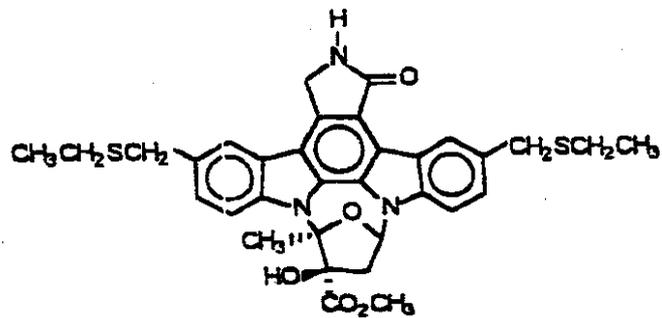
7. 補正の内容
別紙のとおり。



(別紙)

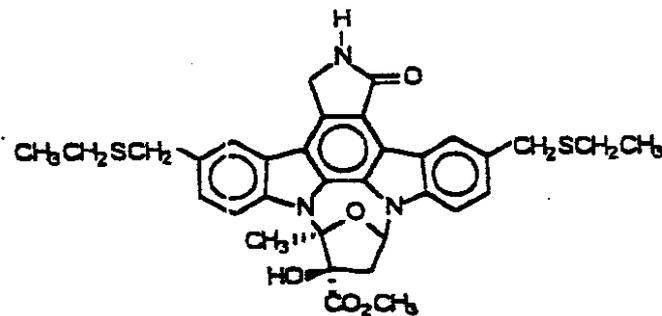
請求の範囲

1. 哺乳動物における腫瘍壊死因子アルファの過剰産生の阻害用の医薬を製造するための式：



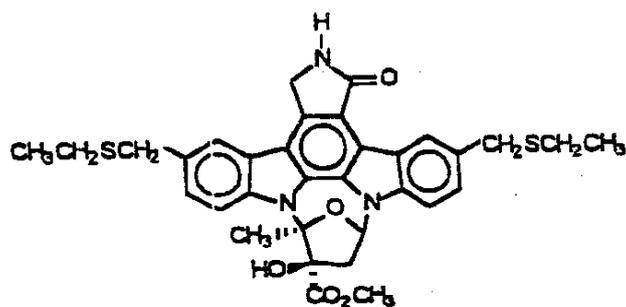
によって表される化合物Aの使用。

2. 哺乳動物における腫瘍壊死因子アルファの過剰産生の有害な効果の改善用の医薬を製造するための式：



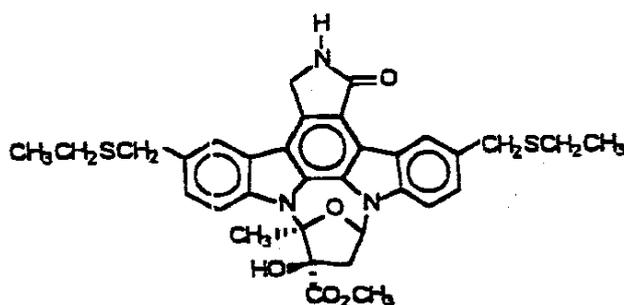
によって表される化合物Aの使用。

3. 哺乳動物におけるインターロイキン-1 ベータの過剰産生の阻害用の医薬を製造するための式：



によって表される化合物Aの使用。

4. 哺乳動物におけるインターロイキン-1 ベータの過剰産生の有害な効果の改善用の医薬を製造するための式：

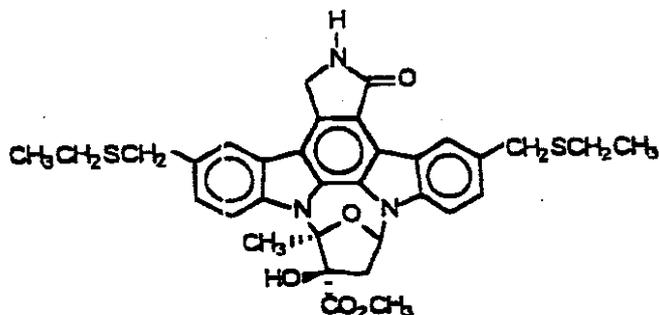


によって表される化合物Aの使用。

5. 該有害な効果が、敗血性ショック、慢性関節リウマチ、変形性関節症、喘息、気管支炎、慢性閉塞性気道疾患、乾癬、アレルギー性鼻炎、皮膚炎および炎症性腸疾患よりなる群から選択される請求項2記載の使用。

6. 該有害な効果が、自己免疫疾患である請求項2記載の使用。

7. 哺乳動物における末梢性神経障害の改善用の医薬を製造するための式：



によって表される化合物Aの使用。

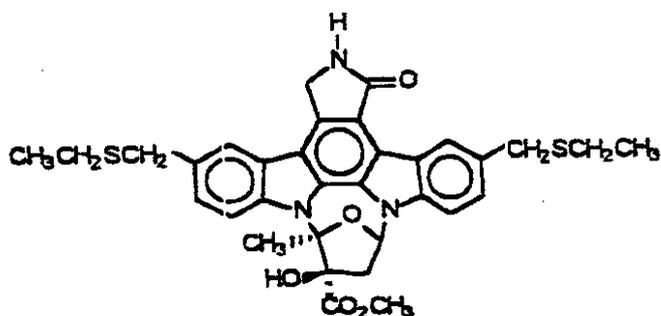
8. 該末梢性神経障害が毒性薬品によって惹起される請求項7記載の使用。

9. 該毒性薬品が腫瘍剤、アルコール、金属類、産業毒素、抗生物質、食物汚染物質および医薬品汚染物質よりなる群から選択される請求項8記載の使用。

10. 該末梢性神経障害が全身疾患にかかわる請求項7記載の使用。

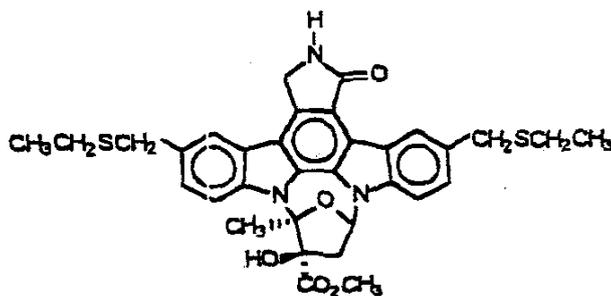
11. 該末梢性神経障害が遺伝学的に獲得された神経障害にかかわる請求項7記載の使用。

12. 治療上有効量の式：



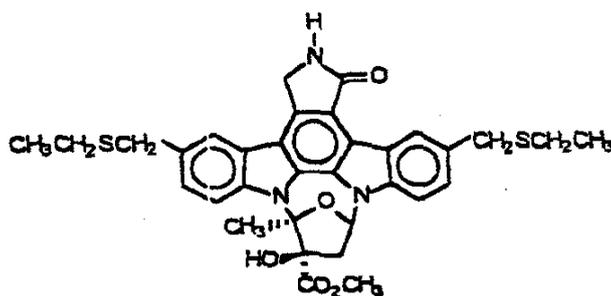
によって表される化合物Aを含む、哺乳動物における腫瘍壊死因子アルファの過剰産生を阻害するための医薬組成物。

1.3. 治療上有効量の式：



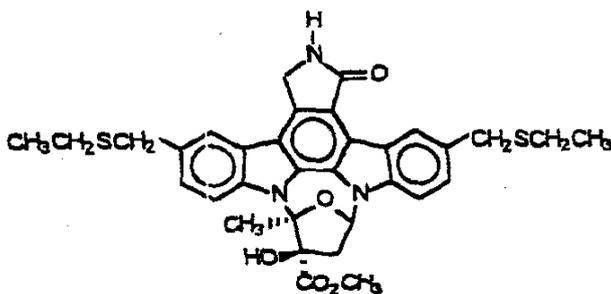
によって表される化合物Aを含む、哺乳動物における腫瘍壊死因子アルファの過剰産生の有害な効果を改善するための医薬組成物。

1.4. 治療上有効量の式：



によって表される化合物Aを含む、哺乳動物におけるインターロイキン-1ベータの過剰産生を阻害するための医薬組成物。

1.5. 治療上有効量の式：



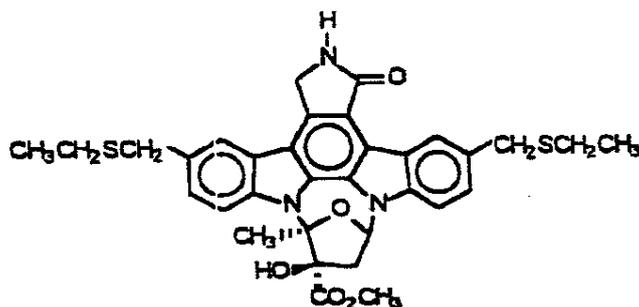
によって表される化合物Aを含む、哺乳動物におけるインターロイキン-1ベータ

の過剰産生の有害な効果を改善するための医薬組成物。

1.6. 該有害な効果が、敗血性ショック、慢性関節リウマチ、変形性関節症、喘息、気管支炎、慢性閉塞性気道疾患、乾癬、アレルギー性鼻炎、皮膚炎および炎症性腸疾患よりなる群から選択される請求項1.3記載の医薬組成物。

1.7. 該有害な効果が、自己免疫疾患である請求項1.3記載の医薬組成物。

1.8. 治療上有効量の式：



によって表される化合物Aを含む、哺乳動物における末梢性神経障害を改善するための医薬組成物。

1.9. 該末梢性神経障害が毒性薬品によって惹起される請求項1.8記載の医薬組成物。

2.0. 該毒性薬品が腫瘍剤、アルコール、金属類、産業毒素、抗生物質、食物汚染物質および医薬品汚染物質よりなる群から選択される請求項1.9記載の医薬組成物。

2.1. 該末梢性神経障害が全身疾患にかかわる請求項1.8記載の医薬組成物。

2.2. 該末梢性神経障害が遺伝学的に獲得された神経障害にかかわる請求項1.8

記載の医薬組成物。